

<アイデア>

【ねらい】

ディスカッションの構成や既習表現を活用・発揮して、相手と議論を深めることで論理的に結論を導く。

アイランドゲーム

例えばこんなときに使ってみてはどうでしょう。

本文が
ディスカッション形式
だったので、ディスカッ
ションを経験させたい。



教科書にも
ディスカッションの例題は
載っているが、テーマが
難しいかもしれない。

生徒への提示

手軽に取り組める
ディスカッションテーマが
ほしい。

「あなたたちは4人組で
無人島に行くとします。
もって行くべきもの三つ
を話し合って決めてくだ
さい。優先順位もつけて
ください。」



まずは各自の考えをまとめる時間です。
先生ご自身のアイデアを伝えることも大切です。

Mission:

Decide

what you take with you.

Survive for one week at a deserted island

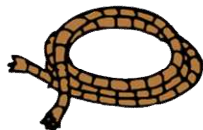
Food? Sleep? Hot? / Cold?

条件を与えると考えやすいでしょう。

理由を必ず考えるように促します。

持って行く物のリストに関する語彙が不十分であれば、こちらから与えてもいいでしょう。生徒が調べるのもいいですね。

表現について、こちらからすべてを提示することは避けたいです。



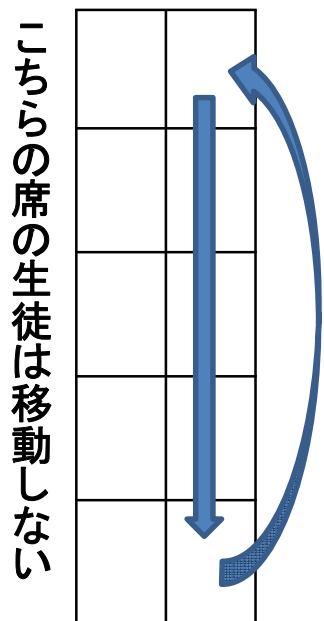


次にペアで自分の考えを伝え合います。

複数回挑戦させます。

英語そのものの確認です。適宜指導も必要です。

- ① 最初に隣同士 **短時間でどんどん動かします。**
- ② 例えば下図のように機械的に相手を変えて、ペアで練習させます。
これを繰り返します。



先生は生徒間を歩き、「これが分からない」というつぶやきやよいペアを探ります。

2～3組が終わったあたりで一度活動を止めます。
中間指導では、次の三点に注意してください。

- ① 生徒にとって難しい表現の援助
- ② よいペアの紹介
- ③ 多く見られるつまずきの支援

途中にどんどん上手になっている自分に生徒が気付けば、なおよしです。



いよいよ4人グループで無人島に何を持って行くかを話し合います。(三種類・優先順位をつける)
話し合い後、先生の前で発表させてみるのもいいでしょう。(パフォーマンステストへ)

【応用課題例】

一人が助けを呼びに出るとする。

- ① 誰を選びますか。
- ② なぜその人ですか。
- ③ その人は全員を救済するために何をしますか。

※追加の条件を付けることで難易度を調整できます。
例えば「なるべく早く。」「費用は低く抑える。」など。



このアイディアのポイント

- 1 正解はないので、生徒の発想は自由である。
(「冒険やキャンプのプロは、これを持って行く」というものはあるようです。)
- 2 相手を説得することが求められるので、自分の意見に理由をもつ習慣ができる。